



持ち込みPC対策

問題発生：ワーム拡散による甚大な被害が！

企業などのネットワークに深刻なダメージを与えてきたワームやウイルス。その中でも多い感染ルートの一つとして社外から持ち込まれたノートPCが挙げられます。最新のセキュリティパッチ未対応などセキュリティポリシーの適用が不十分なままのノートPCを社外で使用しワーム等に感染する。そうして感染したノートPCをそのまま社内ネットワークに接続し、そこから被害が社内ネットワークに拡大するという状況にあります。そこで、持ち込みのPCに対しての検疫を実施する必要性が出てくるのです。



対策

持ち込みPCからの脅威を減らすためにはPCの持ち込みを制限すること、持ち込まれたPCからの被害を他のネットワークに広げないことが重要です。



LANDeskだと実現できます

LANDesk® Trusted Accessは社外から持ち込まれたPCから起こりえるウイルス感染などの被害から社内のネットワークに接続しているリソースを保護する検疫ソリューションを提供します。

- 社内ネットワーク接続前のクライアントのセキュリティポリシーに基づく診断
 - 安全性を確認できないPCの隔離
 - 必要に応じて修復手段の提供
- 柔軟かつ広範囲なセキュリティポリシーの設定
 - OSのパッチレベル、クライアントの構成(パスワードポリシー、ファイアーウォールの有効化、ゲストアカウント設定など)、ウイルス対策ソフトの使用状況
 - 任意のポリシーを作成
- 継続的な管理
 - 定期的スキャンにより管理対象PCのセキュリティレベルを維持